

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう西藤			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動ルームと学習ルームを分けた構造化環境づくりやゾーニングが徹底されており、子どもが見通しを持って過ごせる環境設定ができています。清掃・消毒も日常的に行われ、保護者からも「工夫されている」「清潔で安心できる」と高い評価を得ています。	毎日のミーティングと終礼で支援の振り返りや共有を行い、PDCAサイクルを回しています。記録も徹底し、支援の検証・改善につなげています。	活動スペースの使い方をさらに工夫し、利用人数に応じた環境調整を進めます。
2	個別支援計画の作成・共有・モニタリングが非常に丁寧で、職員全体でカンファレンスを行いながら計画立案をしています。計画に沿った支援の実施率も高く、子ども一人ひとりに寄り添った支援が提供されています。	活動プログラムが固定化しないよう、個別支援計画を確認しながら企画しています。楽しさと成長の両立を意識した活動設計ができています。	保護者への情報発信方法を工夫し、自己評価結果などの周知を強化します。
3	保護者満足度が極めて高く、「大好きです」「毎回楽しみにしている」「こんなに親身な先生はいない」といった声が多数見られます。送迎時やコドモンでの丁寧な情報共有が信頼関係につながっています。	安全管理体制が充実しており、BCP、各種マニュアル整備、避難訓練、ヒヤリハット共有、虐待防止研修を継続しています。	保護者会や交流イベントの事前案内を早め、参加しやすい体制を整えます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物スペースに限りがあり、今後利用児の成長に伴い手狭に感じる可能性があります。	施設規模に対する利用人数増加の影響があります。	活動場所の分散や人数調整で環境負担を軽減します。
2	保護者同士の交流機会や父母会について「少ない」と感じる声があります。	保護者の就労状況や予定調整の難しさが交流機会参加率に影響しています。	年間予定の早期案内など、保護者が参加しやすい工夫を行います。
3	職員間での情報共有が一部行き届かなかったケースがあり、不安につながった例があります。	連絡手段が複数あるため、共有漏れが起こる可能性があります。	職員間共有ルールを再確認し、申し送りの徹底を図ります。